

# サステナブルな社会と 事業活動の実現に向けた協和キリンの取り組み

2025年協和キリンサプライヤー説明会配布資料

協和キリン株式会社

 **KYOWA KIRIN**

本資料には、当社（国内外の連結子会社を含む）の見通し、目標、計画など、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報や予測をもとになされた当社の合理的な判断に基づくものですが、実質的にこれら記述とは大きく異なる結果を招く不確実性を含んでいます。

これら不確実性には、国内外製薬業界の事業活動に潜在するリスク、知的財産権にかかるリスク、副作用に関するリスク、法的規制リスク、製品の欠陥等の発生リスク、原燃料価格の変動リスク、製品市況価格の変動リスク、為替・金融市場の変動リスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料は、投資家の皆様に向けて情報を提供することを目的としたものであり、内容には医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

サステナブルな社会と事業活動の実現に向けた協和キリンの取り組み

# 協和キリンの価値創造ストーリー

# 経営理念、価値観

## Our Philosophy 経営理念

協和キリングroupは、  
ライフサイエンスとテクノロジーの  
進歩を追求し、新しい価値の創造により、  
世界の人々の健康と豊かさに貢献します。



## Innovation

情熱を持ち、楽しみながら、生活を変革しよう。  
全ての業務において、現状維持を良しとせずチャレンジしよう。

## Core Values 価値観



## Commitment to Life

この地球上で最も大切な存在のために働こう。  
患者さん、患者さんを介護する人、医療従事者、  
そしてお客様のために価値を創造しよう。



## Integrity

正しいことをしよう。  
一貫して誠実で倫理的であろう。  
公正な事業運営を通じて、より良い世の中を造ろう。



## Teamwork/Wa

ワン・フォー・オール、オール・フォー・ワン。  
多様性のあるチームで働き、お互いに尊重しよう。  
組織の枠を超えよう、  
そしてステークホルダーと連携しよう。

# Vision 2030

協和キリンは、イノベーションへの情熱と多様な個性が輝くチームの力で、日本発のグローバル・スペシャリティファーマとして病気と向き合う人々に笑顔をもたらすLife-changingな価値\*の継続的な創出を実現します。

## アンメット メディカルニーズを 満たす医薬品の提供

抗体技術の進化へ挑戦を続けることに加え、多様なモダリティを駆使し協和キリンの強みを生かした創薬により、有効な治療法のない病気の治療に取り組んでいきます。

## 患者さんを中心においた 医療ニーズへの対応

医薬品事業で培った疾患に関する知見と最先端の科学・技術の応用に努め、医薬品にとどまらない社会の医療ニーズに応えていきます。

## 社会からの信頼獲得

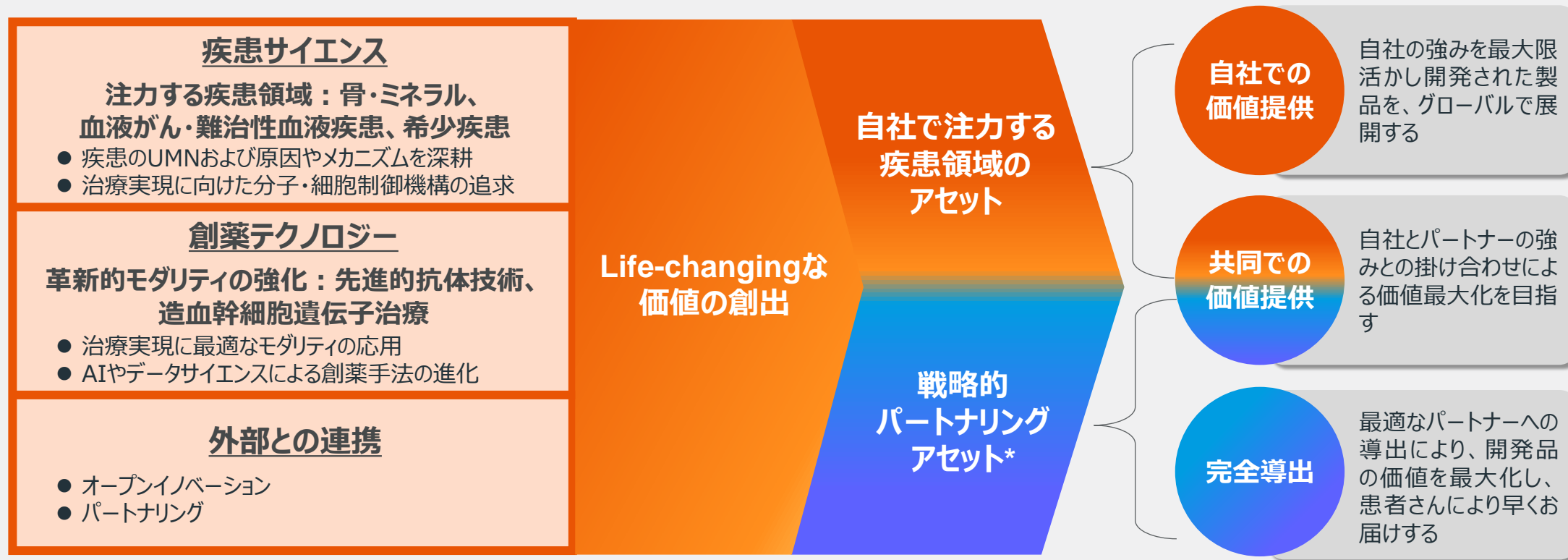
常に信頼され、成長が期待される企業であり続けるため、世界トップクラスの製品品質とオペレーショナルエクセレンスを追求し続けます。

\* 病気と向き合う人々の満たされていない医療ニーズを見出し、その課題を解決するための新たな薬やサービスを創造し、提供することで、患者さんが「生活が劇的に良くなった」と感じ笑顔になること

# Life-changingな価値を創出・提供するための戦略 - Story for Vision 2030

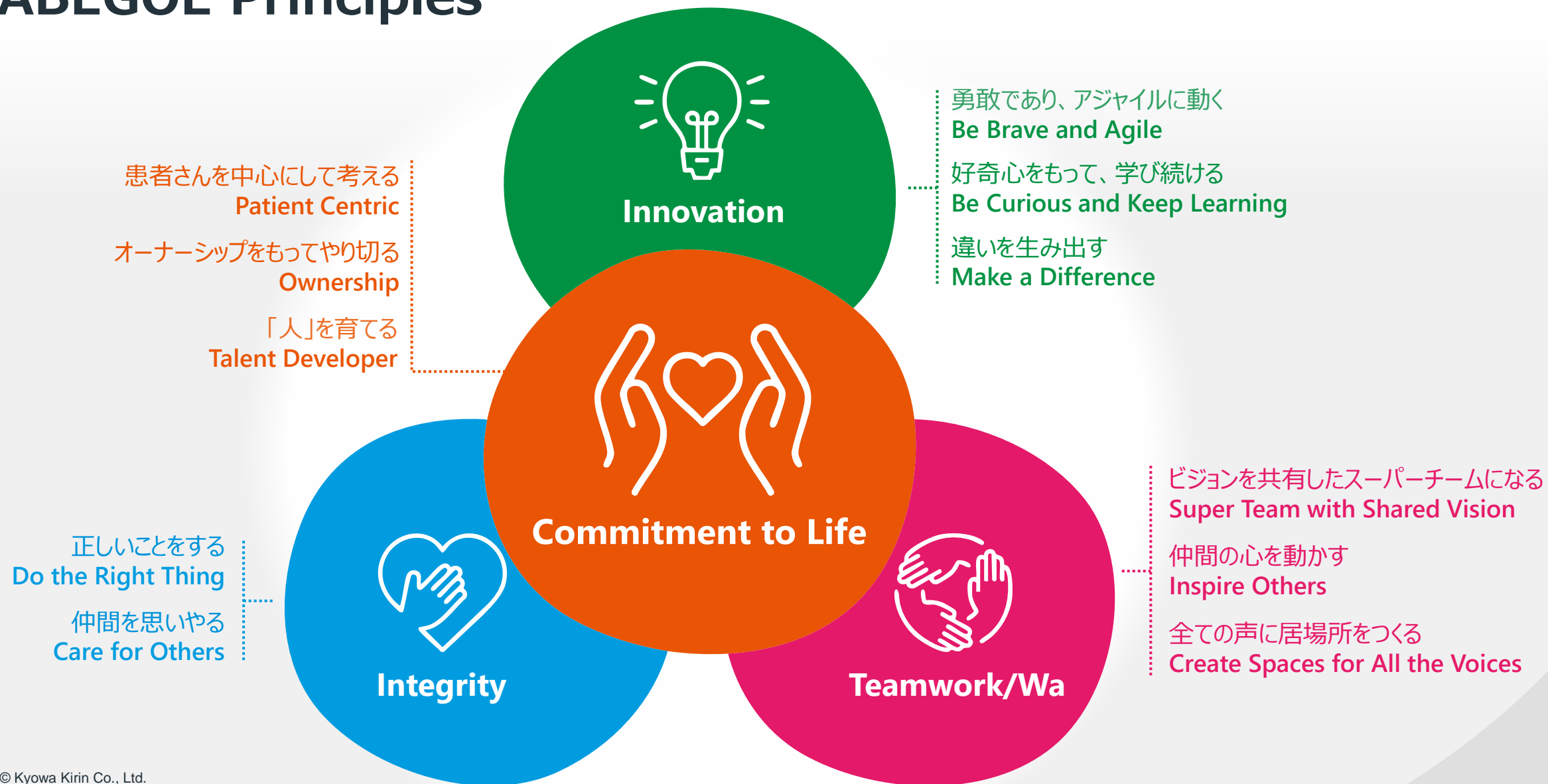
経営理念の下、2030年に向けたビジョンを掲げ、活動を継続しています。

大きな環境変化がある中、ビジョン実現をより確かなものにすべく、Story for Vision 2030を策定し、ビジョンの解像度を上げながら、戦略と課題をより有機的に結び付け、Life-changingな価値の創出に向けたCSV経営を実践していきます。



\* 注力する疾患領域以外のアセットを戦略的パートナーリングアセットとし、パートナーとの連携で価値最大化を実現する

# KABEGOE Principles

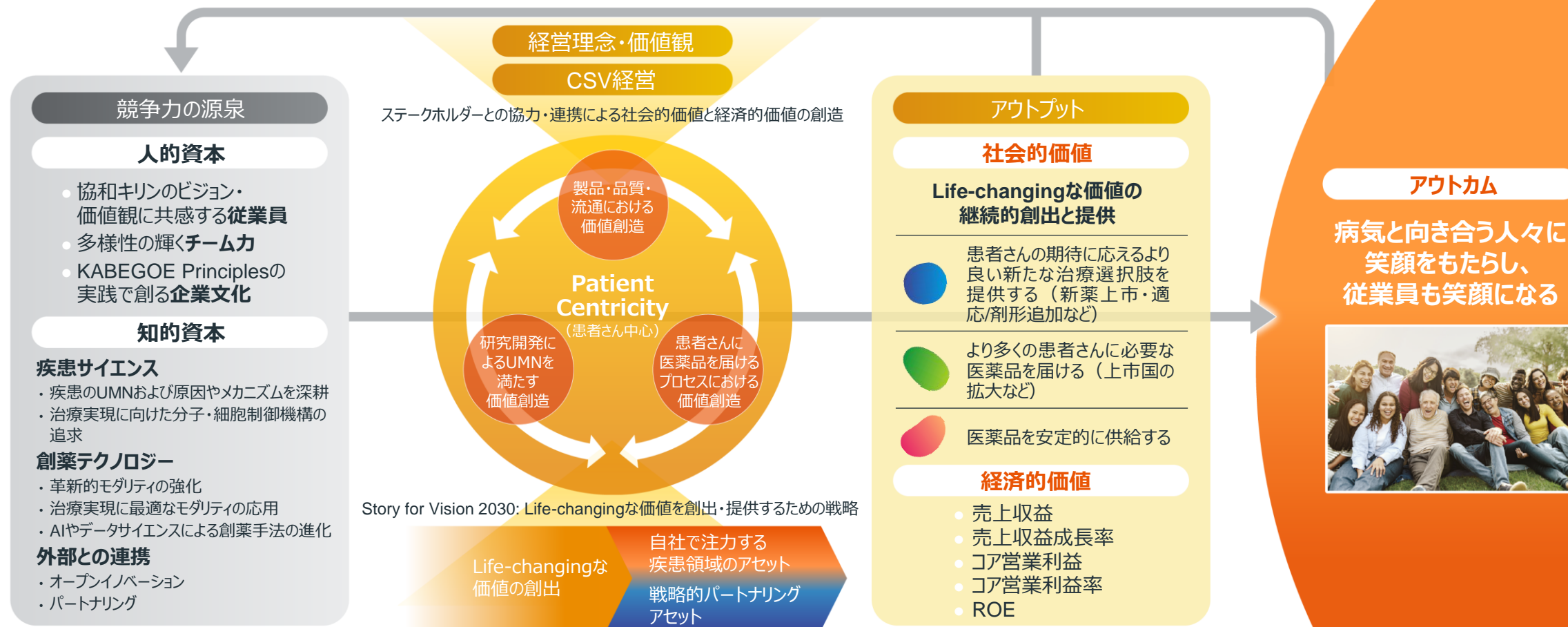


# Vision 2030実現に向けた Story for Vision 2030と KABEGOE Principles



# 価値創造ストーリー

Life-changingな価値を創出・提供するための戦略として策定されたStory for Vision 2030は、この価値創造ストーリーで示すビジネスモデルおよび、競争力の源泉である知的資本と深く関連しています。協和キリンは、病気と向き合う人々に笑顔をもたらすため、私たちの競争力の源泉である人的資本と知的資本を活かし社会的価値と経済的価値の創出を目指します。



サステナブルな社会と事業活動の実現に向けた協和キリンの取り組み

# 協和キリンのサステナビリティとマテリアリティ

## 協和キリンのサステナビリティについて

協和キリンにとってのサステナビリティとは、社会のステークホルダーとともに、“病気と向き合う人々に笑顔をもたらす Life-changing value ”という価値を共創していくことを意味しています。私たちは、ビジョン2030の実現を通して、協和キリンのサステナビリティと社会のサステナビリティを両立していきます。

協和キリンのサステナビリティを推進することは、我々の掲げるCSV経営とつながっています。  
すなわち

### 社会的価値

病気と向き合う人々に笑顔をもたらす Life-changing value を提供し、社会課題を解決すること

### 経済的価値

協和キリンがさらに Life-changing value を生み出していくために 人的・知的資本に投じる原資となりうる財務的な価値（利益）

という2つの価値創造を両立していくことです。

社会的価値を提供し、さらに次の社会的価値を創出するための経済的価値を得て、世界中の病気と向き合う人々に必要とされる企業であり続けること、これをサステナブルな事業活動と考えています。

また、私たちがサステナブルに事業活動を継続していくという観点から、未来世代を重要ステークホルダーととらえ、環境問題にも取り組んでいきます。



# マテリアリティ

協和キリンはVision 2030実現に向けたマテリアリティ（重要経営課題）を選定しています。2023年に、ビジョン・戦略とマテリアリティの関連性を明確化し、それ以降毎年の年度経営計画策定にあたり、環境変化を踏まえたマテリアリティの再調整を実施しています。今後もVision 2030実現に向けて、全社一丸となって取り組みを推進していきます。

## 価値創造トピック

戦略の幹

マテリアリティ

関連するSDGs

アンメット  
メディカルニーズを  
満たす医薬品の  
提供

- 革新的な医薬品の創出
- 製品の価値最大化
- パイプラインの充実



患者さんを  
中心においた  
医療ニーズへの  
対応

- 医療へのアクセス向上
- 医薬品にとどまらない価値の創出

Life-changingな  
価値を実現する  
人材・基盤の強化

- 人材ポートフォリオ
- 企業文化
- デジタルトランスフォーメーション

## 価値向上トピック

戦略の幹

マテリアリティ

関連するSDGs

社会からの  
信頼獲得

- 製品の品質保証と安定供給
- 地球環境への負荷の低減



Life-changingな  
価値を実現する  
人材・基盤の強化

- コーポレートガバナンス
- 事業活動における倫理と透明性
- リスクマネジメントの強化

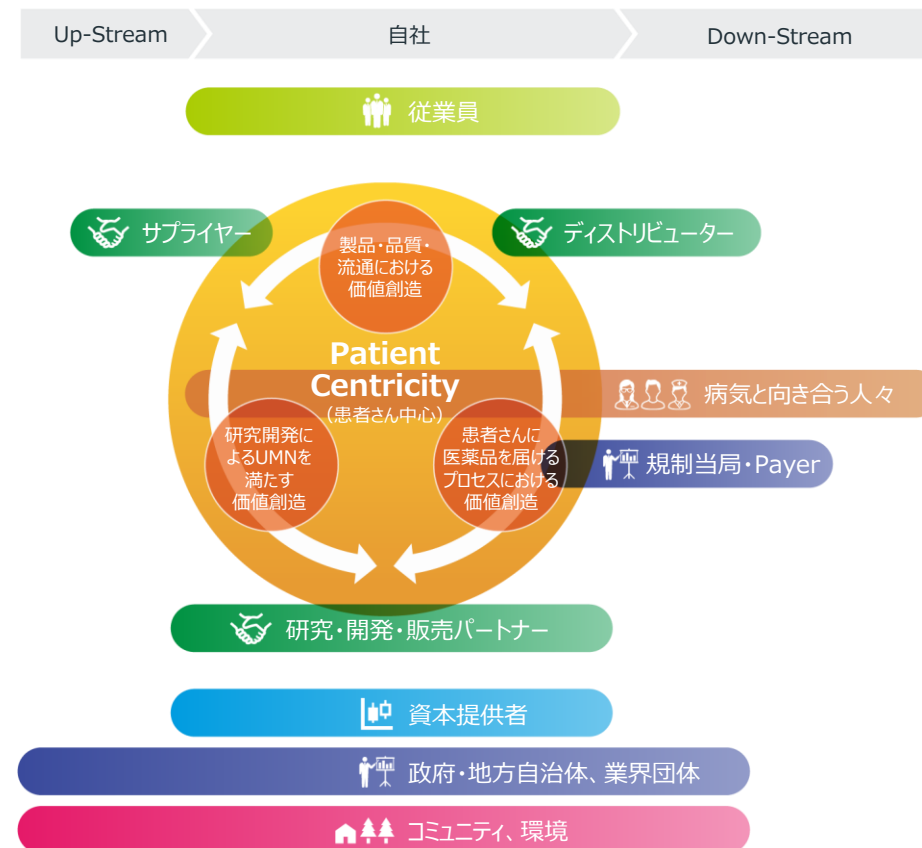
# ステークホルダーとは

価値の創出には、さまざまなステークホルダーとの協力・連携が不可欠です。ここでは、価値の創出に深く関わるステークホルダーを、価値創造ストーリーでビジネスモデルとして掲げたバリューチェーンに関連付けて示しています。特に、病気と向き合う人々に笑顔をもたらすLife-changingな価値を創出し続けるためには、バリューチェーンのさまざまな場面でその声に真摯に耳を傾ける必要があると考えており、図の中にその考えを示しました。私たちは、「Patient Centricity」の考えのもとステークホルダーと一緒に価値の共創を実現します。

## 当社のステークホルダー



## ステークホルダーとバリューチェーンとのつながり



# サステナブルな社会の実現に向けた取り組み

## 協和キリングroup° ビジネスパートナーマネジメント基本方針の制定

### 協和キリングroup°における ビジネスパートナーに対する基本方針を明確化

- 協和キリングroup°として、ビジネスパートナーに対して促す行動
  - ➡ 協和キリングroup°行動規範の精神に基づく行動（人権、環境、情報セキュリティや贈収賄・腐敗行為防止等を含むコンプライアンスに関わる行動等）
- どのようにして促すか
  - ➡ デュー・ディリジェンスを継続的に実施していく
  - ➡ そのために、各プロセスに責任を持つ組織を明確にし、社内体制の強化に努める

## PSCIへの加入

### 2024年にPSCIへ加入

- グローバルの製薬企業等と連携
  - ➡ より社会要請を踏まえた大きなインパクトの創出へ



## 各種法令順守対応

- CSDDD（企業サステナビリティ・デュー・ディリジェンス指令）対応

# 「サステナブル調達」の推進

～調達機能における取り組み～

協和キリン株式会社

 **Kyowa KIRIN**

## 「サステナブル調達」の推進

協和キリン × サプライヤー

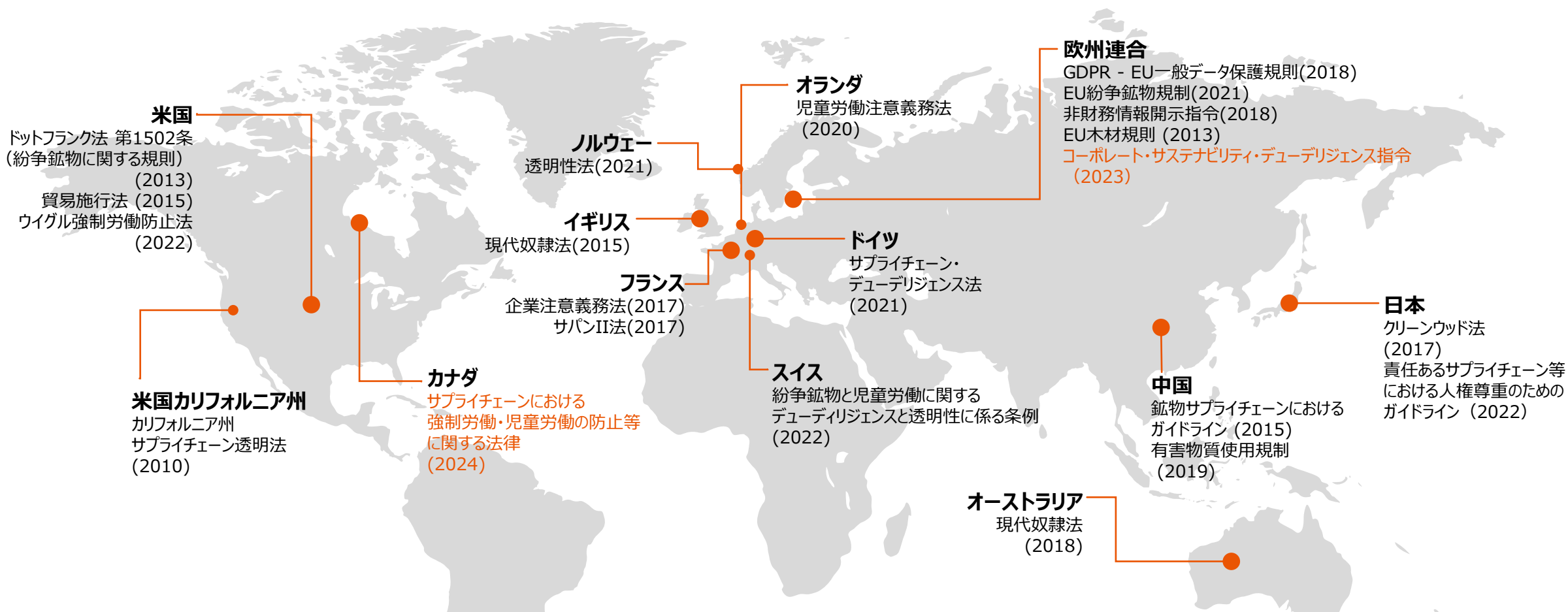
協和キリングroupでは、  
サプライチェーン全体で  
持続可能な社会と経済の実現に向けた  
「サステナブル調達」に取り組んでいます。

「サステナブル調達」の実現には、  
当社グループの努力だけでは成し遂げず、  
サプライヤーの皆様のご協力が不可欠です。

「サステナブル調達」の実現に向けて

# 「協和キリングループサプライヤー行動指針」について

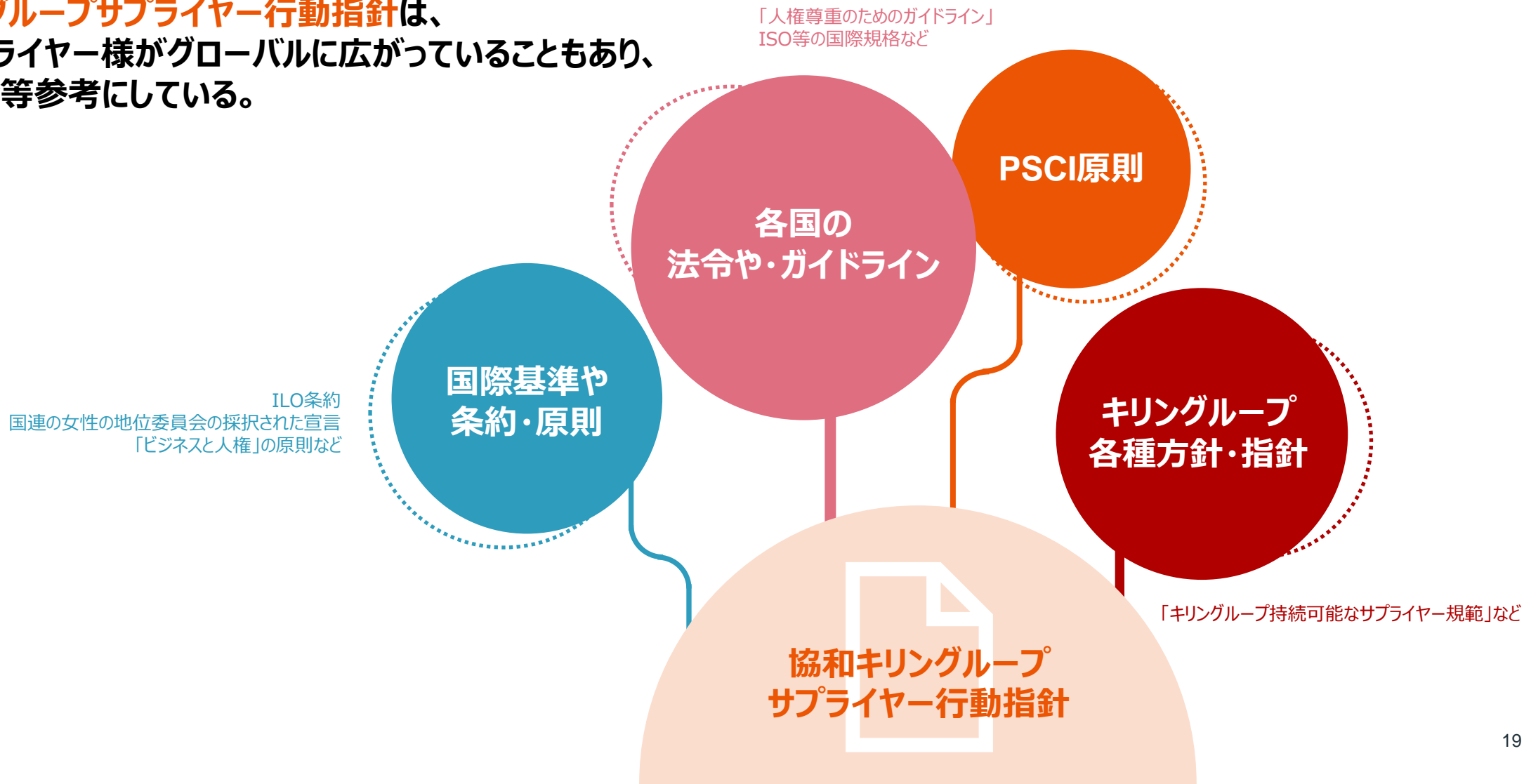
# 世界中のサプライチェーンに関連する規制変更（2010年以降）



近年世界各国では**人権・環境**を中心に、サプライチェーンに関する法律が次々と制定されている。

# 協和キリングroupサプライヤー行動指針

協和キリングroupサプライヤー行動指針は、  
弊社のサプライヤー様がグローバルに広がっていることもあり、  
以下の法令等参考になっている。



# PSCIとは

## Understanding the PSCI

The PSCI is a membership group of companies in the pharmaceutical and healthcare sector that commit to working together towards a common vision of excellence in our supply chains.

### Principles

The foundational commitment of all members is to the **PSCI Principles**. They are our blueprint for responsible practice, setting out our expectations for five relevant topic areas. Members integrate them into their own supplier codes and uphold them in their operations, aiming for continual improvement by advancing supplier performance over time.

You can read more about them on the next page.

### Membership

The PSCI continues to enjoy growth in its **membership** and is currently led and driven by representatives from 53 member companies (find out more on [page 28](#)).

### Strategy

The Board has set a clear three-year **Strategy** and a program of work to support it (find out more on [page 8](#)).



### Vision

The PSCI's vision is for excellence in safety, environmental, and social outcomes across the whole of the global pharmaceutical and healthcare supply chain.

### Board

The PSCI is a non-profit organization incorporated in the USA. We are led by an elected **PSCI Board** made up of representatives from our member companies (find out more on [page 9](#)).

The Board would like to record its thanks to all the members of the Committees and Topic Teams and those who lead them.

### Committees

Our program is driven by five working **Committees** made up of members. The Committees drive our program of audit standardization and sharing and our supplier capability building work (among other things). The work of our Committees is described on [pages 12 to 21](#).

### Topic Teams

The Committees are supported by expert **Topic Teams** covering content varying from Environmental Protection to Process Safety. You can learn more about their work through our short video [here](#).

**PSCI（製薬業界サプライチェーンイニシアティブ）は、2006年に設立メンバー6社によるプロジェクトとして発足し、2013年に米国で設立された非営利会員制組織です。会員会社は、製薬・ヘルスケアに関連する企業が中心となっております。**

**2025年11月現在、PSCIは世界中に85の会員会社があります。**

**協和キリングroupも、2024年6月にPSCIに加入し、アソシエイトメンバーの一員になりました。**



**85** MEMBERS  
WORLDWIDE

**35** FULL  
MEMBERS

**50** ASSOCIATE  
MEMBERS

## 協和キリングroupサプライヤー行動指針の内容

協和キリングroupサプライヤー行動指針は、以下の**7つの項目**で構成されています。

- |   |           |  |
|---|-----------|--|
| 1 | 社会との関係    | 社会のよき一員として、持続可能な経済成長と社会的課題の解決を図ります。その実現のために、すべてのステークホルダーと良好な関係を築きます。 |
| 2 | 従業員との関係   | 各自の人間性を尊重し、働きやすい職場環境の維持に努めます。  |
| 3 | ルールの遵守    | 社会のルールを守り、誠実に高い倫理観を持って行動します。   |
| 4 | 人権尊重      | 社内外すべてのステークホルダーの人権、人格を尊重します。   |
| 5 | 環境保全      | 環境問題の取り組みは人類共通の課題であり、企業の活動と存続に必須の要件であるという認識の下、主体的に行動します。             |
| 6 | 情報管理      | 私たちの事業に関する情報を適正に管理します。   |
| 7 | リスクマネジメント | 私たちの事業にかかるリスクおよびクライシスを適切に管理します。                                      |

詳細の内容については、弊社オフィシャルサイトの「[サステナブル調達](#)」ページにてご確認いただけます。

# 協和キリングroupサプライヤー行動指針に関するお願い

## — サプライヤーの皆様へのお願い —



協和キリングroupサプライヤー行動指針は、  
**サプライチェーン全体**で理解し指針に沿った実行をすることがサステナブル調達の実現のために重要です。

本指針を受けたサプライヤーの皆様は、サプライヤー社内はもとより、  
**2次サプライヤーの皆様へも**本指針を伝えていき  
適切な資源配分と仕組みを整えていってください。

本指針に関連した懸念事項は、適切に調査をして解決してください。  
加えて、マネジメントシステムによりそれぞれの取り組みを管理して、  
**サプライチェーン全体**での持続可能な社会の実現に向けて、  
ご協力をお願いします。



「サステナブル調達」の実現に向けて

# 「サステナブル調達アンケート」について

## サステナブル調達アンケート

協和キリンでは、毎年、「協和キリングroupサプライヤー行動指針」の各項目に沿ったサステナブル調達アンケートを実施し、サプライチェーンにおけるサステナブル調達活動の現状把握と、課題抽出に取り組んでおります。

### 2025年サステナブル調達アンケート

#### アンケートの概要

【設問数】 選択式49問

【設問内容】 法令・国際基準・国際規則に準拠した「協和キリングroupサプライヤー行動指針」に基づく

【取得期間】 2025年9月1日～2025年10月28日

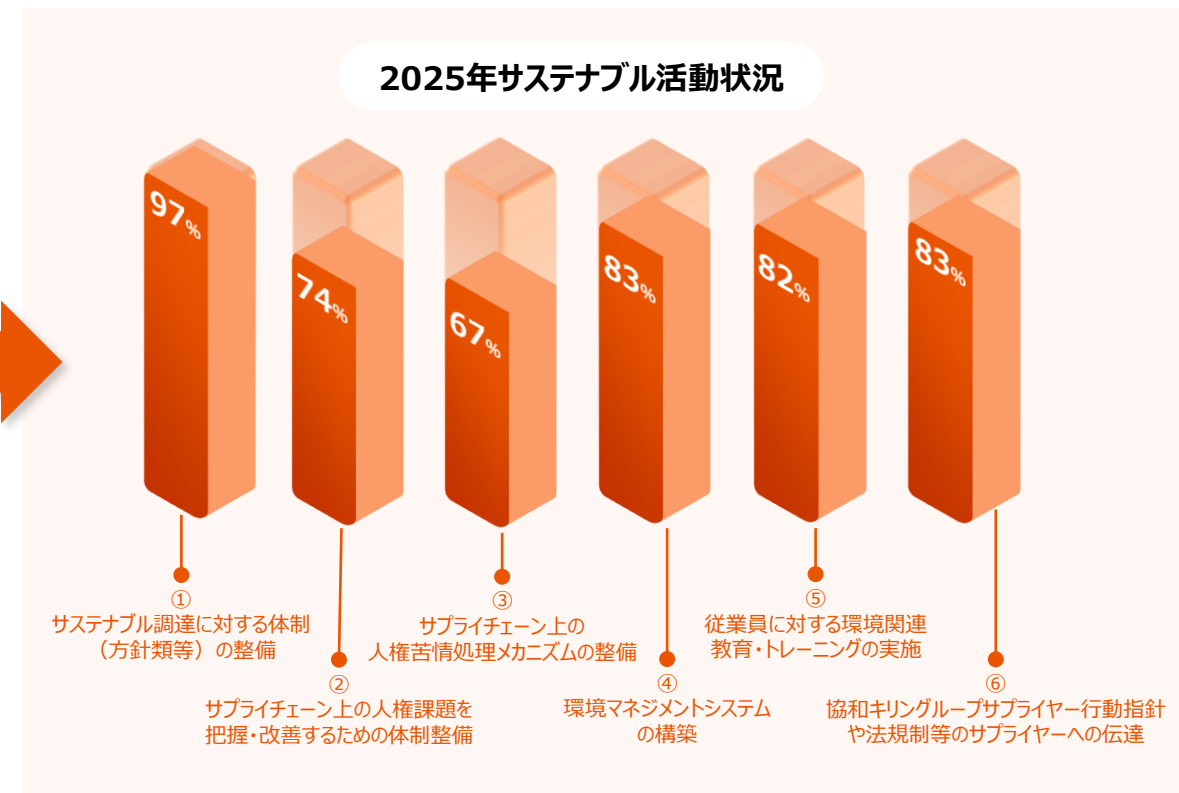
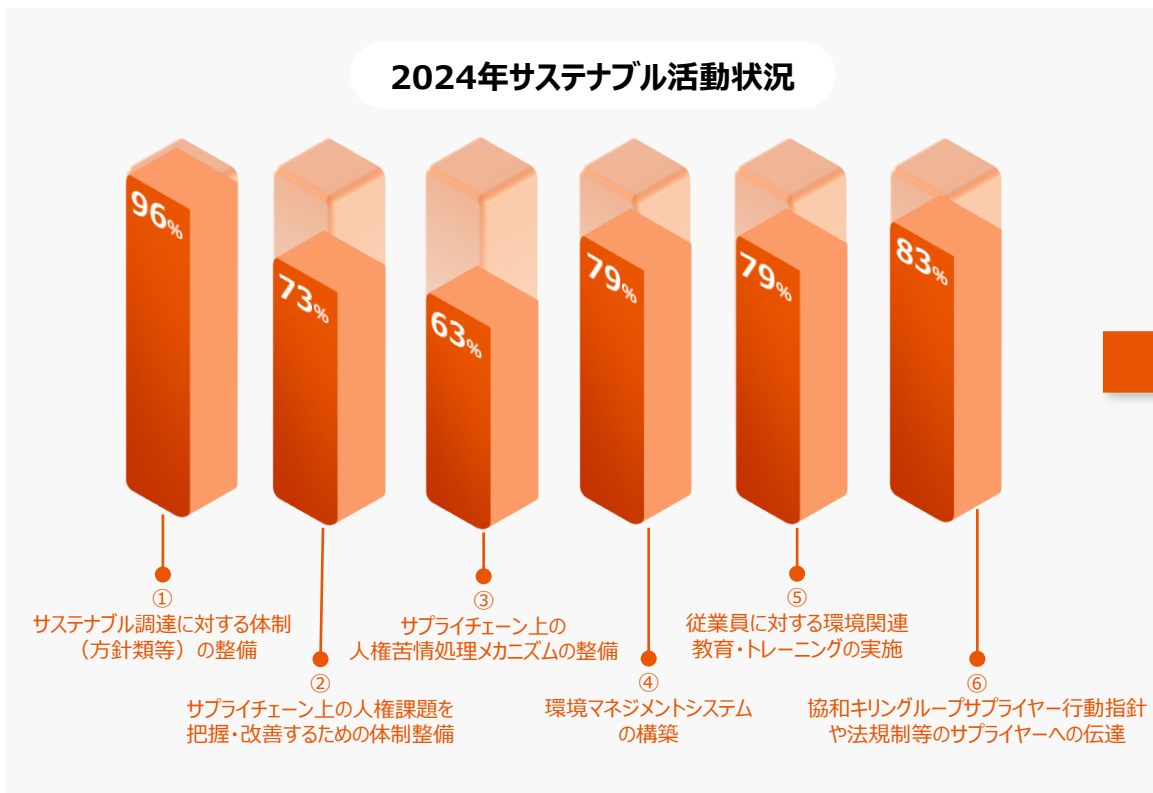
【依頼先】 国内外サプライヤーのうち、弊社基準により選定

【回答社数】 231社（全調達金額に対する割合：82.4%）

# サステナブル調達アンケート（2025）の結果について

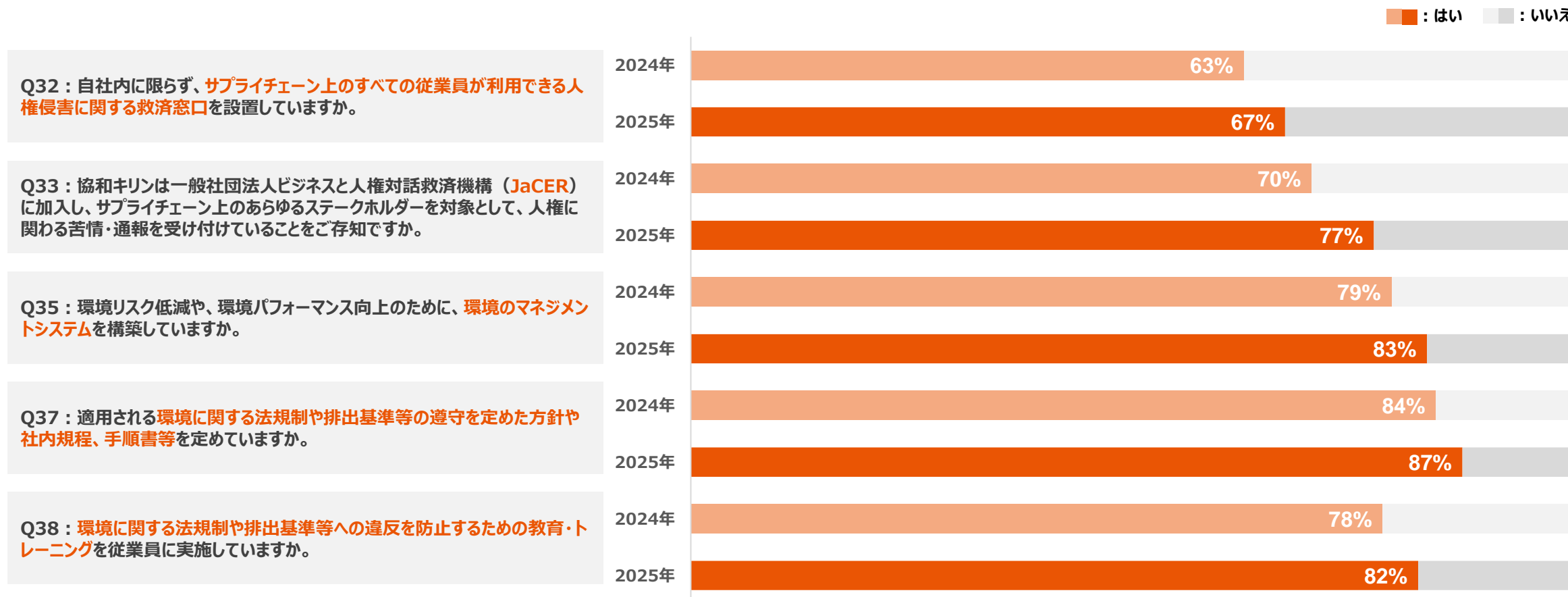
今年のサステナブル調達アンケートの速報です。

2024年の回答結果比較した場合、昨年抽出した重要な質問項目はいずれも**1%以上の改善がみられました。**



## サステナブル調達アンケート（2025）の結果について

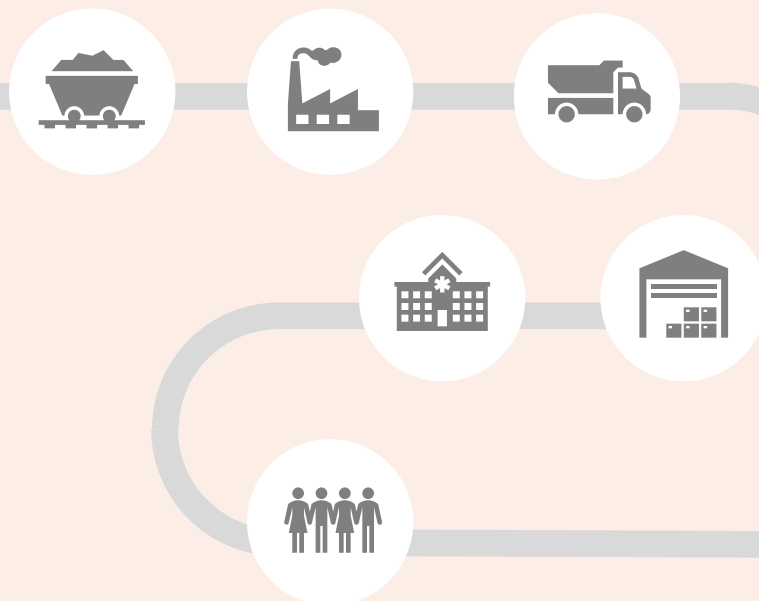
特に、**人権と環境**の項目を中心に、昨年の調査結果より**改善傾向**が確認されました。  
 サプライヤーの皆様が自社の取り組みを通じて「サステナブル調達」にご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
 引き続き、何卒よろしくお願いいたします。



## JaCERへの加入

協和キリングroupは、一般社団法人ビジネスと人権対話救済機構（JaCER※）に加入しました。

JaCERが提供する、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に準拠した「対話救済プラットフォーム」にて、**人権に関わる苦情・通報**を受け付けています。



JaCERは、通常の社内通報窓口とは異なり、**サプライチェーン上のあらゆるステークホルダー**を対象としています。

また、**第三者を介して苦情を受付ける**ことで、苦情処理の公平性・透明性を図り、適切に苦情・通報に対応していくことで、人権における**本質的な課題解決**に取り組めます。

皆様も、必要に応じてJaCERをご利用ください

## 最後に



協和キリン × サプライヤー

「サステナブル調達」の実現には、  
当社グループの努力だけでは成し遂げず、  
サプライチェーン全体の力が必要です。

本日お集りいただきました皆様、  
そして皆様のサプライヤー様に向け、  
主旨をご理解いただきご協力賜りますよう  
よろしくお願いいたします。

# 豊かな地球環境を未来世代に ～環境保全に関する取り組み～

協和キリン株式会社

 **KYOWA KIRIN**

## ビジネスパートナーとの協力・連携によるサプライチェーンの強化

当社の  
考え方

協和キリンは、価値創造のすべてのプロセスにおいてビジネスパートナーと協力・連携し、Life-changing valueを継続的に創出・提供します。



### 2030年に向けたビジョン

協和キリンは、イノベーションへの情熱と多様な個性が輝くチームの力で、日本発のグローバル・スペシャリティファーマとして病気と向き合う人々に笑顔をもたらすLife-changingな価値の継続的な創出を実現します。

#### UMNを満たす 医薬品の提供

抗体技術の進化へ挑戦を続けることに加え、多様なモダリティを駆使し協和キリンの強みを生かした創薬により、有効な治療法のない病気の治療に取り組んでいきます。

#### 患者さんを中心においた 医療ニーズへの対応

医薬品事業で培った疾患に関する知見と最先端の科学・技術の応用に努め、医薬品にとどまらない社会の医療ニーズに応えていきます。

#### 社会からの 信頼獲得

常に信頼され、成長が期待される企業であり続けるため、世界トップクラスの製品品質とオペレーショナルエクセレンスを追求し続けます。

環境対応での皆様との協力・連携

## 環境マネジメントの方針

- 「協和キリングroup環境基本方針」に基づき、事業活動を展開
- 脱炭素社会の実現を目指し、次世代に引き継ぐ地球環境の保護を推進
- 「キリングroup環境ビジョン2050」に整合し、キリンホールディングスと連携

### 協和キリングroup環境基本方針を改定（2025年6月）

#### ■ 協和キリングroupにおける環境活動の位置づけを明確化

##### ➤ 協和キリンとして取り組むべき重要な環境活動

気候変動への対応（インパクトマテリアリティと財務マテリアリティの観点より）

##### ➤ 環境法令遵守のための活動

環境汚染の予防（廃棄物を含む資源循環、水質・土壌・大気等の汚染防止、生物多様性の保全等）

##### ➤ キリングgroupの一員として取り組むべき環境活動

「キリングgroup環境ビジョン2050」実現に向けた活動（気候変動・水資源・生物資源への対応）

## サステナブルな社会の実現に向けた取り組み

### 気候変動：CO<sub>2</sub>排出量（Scope1,2）削減に向けた取り組みと実績①

- 事業特性に合わせた気候変動への対応策
- CO<sub>2</sub>排出量削減：省エネ×再生可能エネルギー（再エネ）の拡大×エネルギー転換

#### 2030年目標

CO<sub>2</sub>排出量 ▲55%（2019年比）

**取り組み** ▶ 2030年まで

設備投資を含む**省エネ**と**再エネ拡大**を中心にCO<sub>2</sub>削減を推進

#### 2040年目標

使用電力の**再エネ100%化**（RE100達成）

#### 2050年目標

バリューチェーン全体のCO<sub>2</sub>排出量**ネットゼロ**

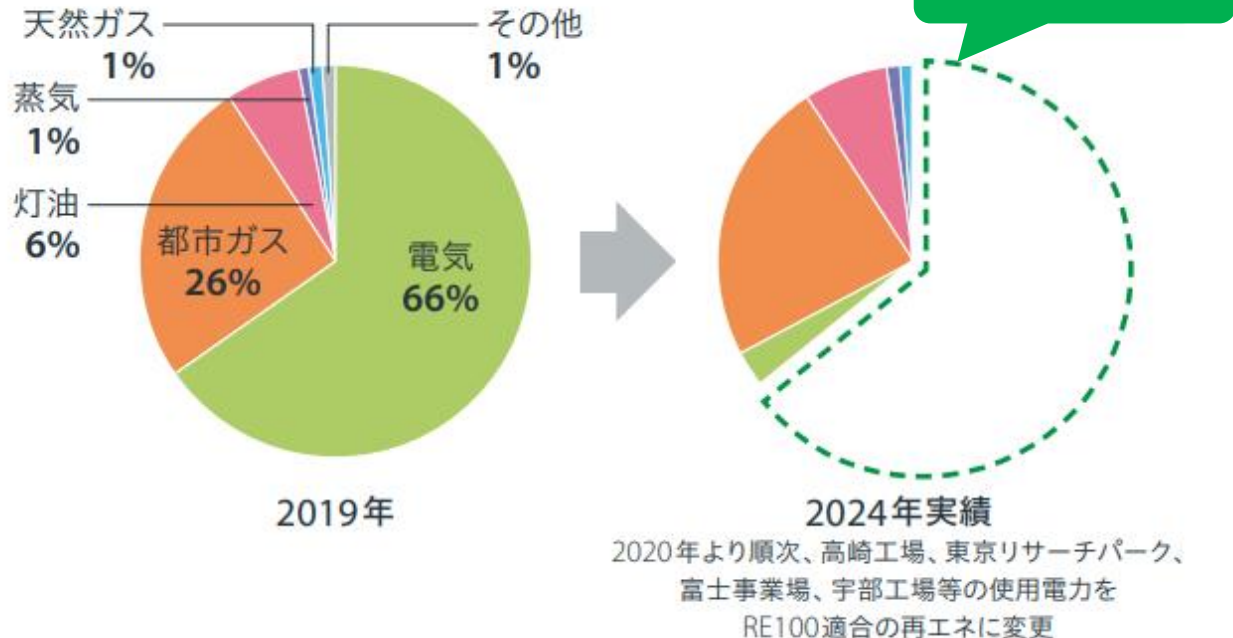
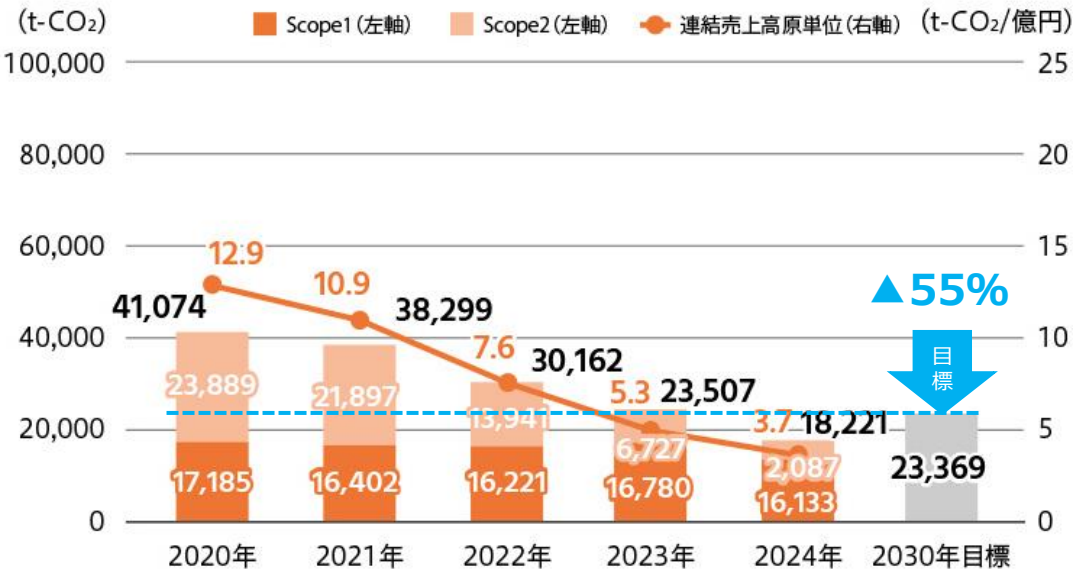
**取り組み** ▶ 2030年～2050年

省エネ・再エネ拡大に加え**エネルギー転換**を推進

サステナブルな社会の実現に向けた取り組み  
 気候変動：CO<sub>2</sub>排出量 (Scope 1,2) 削減に向けた取り組みと実績②

- CO<sub>2</sub>排出量再エネ切り替えが順調に推進
  - 国内主要全事業場使用電力：100%再生可能エネルギーに切り替え完了
  - 再エネ電力導入率：95% (2024年実績)

CO<sub>2</sub>排出量 (Scope 1, 2) 削減目標に向けた推移



➡ 2025年度CO<sub>2</sub>排出量：68%削減見込み (2019年比)

## CO2排出量（Scope3）削減に向けた取り組み

私たち協和キリンは、Life-changingな価値を継続的に創出し、病気と向き合う人々に笑顔をもたらすことをビジョンに掲げています。

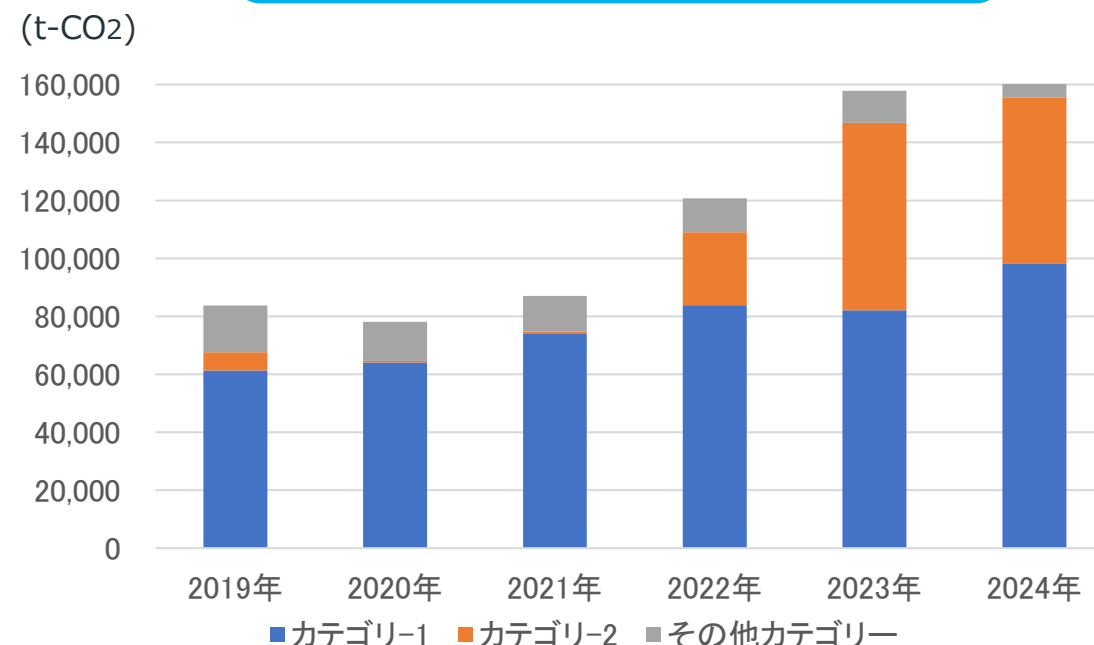
ビジョン実現に向けたマテリアリティのひとつとして『地球環境への負荷の低減』を掲げ、環境に対するコミットメントのもと、広くステークホルダーと協働して脱炭素社会の実現を目指し、積極的に取り組んでいます。

- 2030年削減目標（2019年比30%削減）達成に向けたロードマップを策定

### 今後の対応

- サプライチェーン全体での排出量削減施策の展開
  - サプライヤー様への説明、取り組み・データ提供への協力依頼
  - 削減施策の展開

Scope3 カテゴリー別排出量推移



## サステナブルな社会の実現に向けた取り組み

### ● 各種情報開示法令・関連枠組みに從い対応

- CSRD・SSBJ対応
- TNFD情報開示対応
- カリフォルニア州法対応
- 非財務情報管理システム導入（キリングroup共通）
- 第三者保証取得

### ● 生物多様性保全

- FSC®認証製品の導入：製品個包装箱・輸送段ボール箱、社用封筒、会社案内パンフレットなど
- 水源の森づくり活動の実施（高崎工場、宇部工場）
- 里山ビオトープ二俣瀬保全活動（主催：山口県宇部市、宇部工場）
- 近隣河川の清掃活動（静岡県：リバーフレンドシップ制度）、富士山ごみ減量大作戦（共に富士事業場）
- あまごの稚魚放流（富士事業場）、秋吉台の草原を守り・育む活動（宇部工場）、境川クリーンアップ作戦（東京リサーチパーク）

### ● 各種表彰受賞

- 中国経済産業局長表彰、ヒートポンプ・蓄熱センター表彰（宇部工場）
- まちだ3R賞（東京リサーチパーク）
- たかさき環境賞（高崎工場）

里山ビオトープ二俣瀬保全活動の様子



# 信頼を支えるセキュリティと安定供給

～協和キリンのサイバーセキュリティ施策～

協和キリン株式会社

 **KYOWA KIRIN**

# 直近事例と協和キリンの危機管理体制

# 最近の事例（A社）

## 状況（10月17日時点）

- 出荷・物流システムの復旧作業継続中。ERP 前後処理系は限定的に再稼働を確認。
- 攻撃者からの身代金要求文書が確認されたとの報道。
- 新たな技術情報（侵入経路、マルウェア名、IoC）はまだ公表されていない。

階層	影響内容
受注・出荷停止	国内全商品の受注および出荷業務を停止
物流システム障害	物流・出荷基盤のシステムに障害が生じ、受注→ <b>配送指示が出せない状態</b>
生産停止／工場稼働停止	複数の国内工場で生産停止または稼働停止状態に
顧客対応停止・コールセンター停止	コールセンター業務が停止、顧客・取引先との問い合わせ対応が不能に
代替手動対応	注文受付や <b>出荷指示を紙／電話／FAXなどアナログ手段で一部対応</b>
流通先の代替措置	小売・飲食店などが代替品（競合ブランド）を調達する動き
新製品発表延期・中止	予定されていた新商品の発表会を中止・延期
売上・決算発表遅延	決算発表を延期

物流や生産ラインへの影響が長期化し、安定供給に直結するリスクが顕在化した

## 事例からの学び

### A社事例のポイント（影響範囲・対応課題）

- 「配送指示が出せない」、「出荷指示を紙／電話／FAXなどアナログ手段で一部対応」など物流や生産ラインへの影響が長期化し、安定供給に直結するリスクが顕在化した点

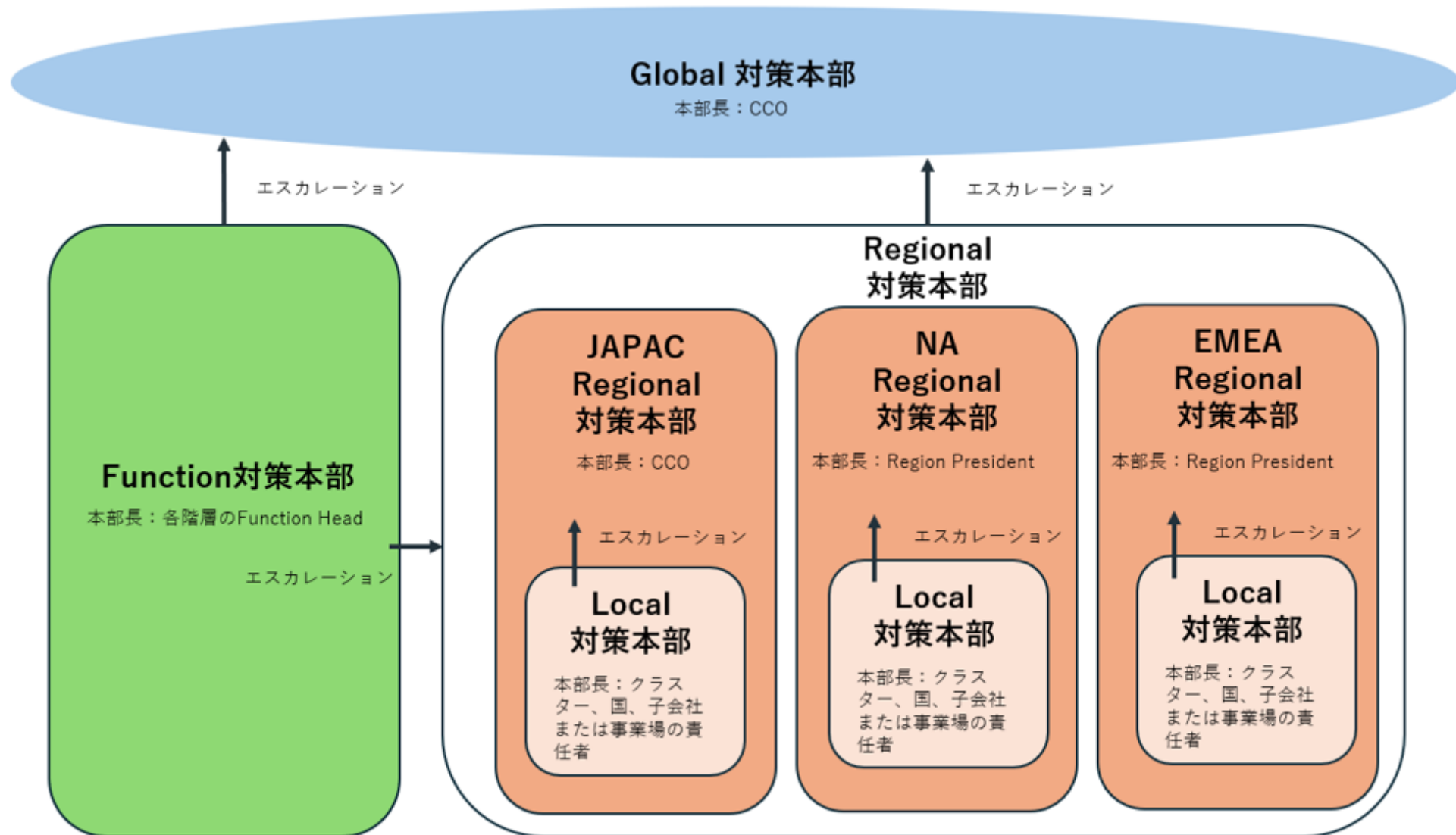
### 協和キリンとしての学び

- 同様の事例が発生した際に、当社のサプライチェーンは維持できるか、現行のセキュリティ施策で十分か
- クライシスマネジメントルール、各FunctionのBCPやコンティンジェンシープランは機能するか
- 現状を再点検する機会を得られた

### 同様の事例が発生した場合の当社での想定対応

リスクレベル	状況	対応例	復旧目安
限定的障害 (Function内影響)	物流システム一部停止	現場主導対応（紙伝票/FAX運用）、Function対策本部設置	24～48時間
中程度障害 (国内影響)	ERP停止、複数拠点影響	Regional対策本部設置、BCP発動、優先製品設定、当局報告	5～14日
重大障害 (グローバル影響)	ERP・品質記録停止、社会的影響	グローバル対策本部設置、供給計画調整、代替経路検討、報道発表	1～2か月

# 参考：対策本部の構成



# 協和キリンのアプローチ： 安定供給を維持するための施策

# 医薬品の安定供給に向けた協和キリンのセキュリティ施策

- KKのBCP基本方針として、優先度が高いのは、①**医薬品の供給（生産、SCM）**、②**安全性監視（PV）**、③**情報提供（MA）**を選定。
- 昨年までは、個人情報保護に重点を置いた対策をしていたが、今年は、安定供給にフォーカス。

施策項目	内容概要	目的・効果
① <b>OneTrustを活用したサードパーティリスクマネジメント</b>	委託先・パートナー企業のセキュリティ体制をOneTrust上で可視化し、評価・改善を実施。グローバル共通基準で継続的に管理。	サプライチェーン全体の信頼性を向上し、データ流出や生産停止リスクを低減。→ 医薬品の安定供給を支える基盤。
② <b>フィッシング被害防止に向けた従業員教育</b>	定期的な模擬フィッシング訓練やeラーニングを通じ、全社員が実践的にセキュリティ意識を高める。	社員一人ひとりが「攻撃を防ぐ最後の砦」として行動できるように。→ 組織全体の耐性強化・文化定着。
③ <b>経営層を含む定期的なサイバー演習</b>	経営陣を含む全社横断型のインシデント対応演習を実施。初動判断・報告・広報対応までをシミュレーション。	危機時の迅速な意思決定と被害最小化を実現。→ 経営レベルでのセキュリティリーダーシップを確立。

# ① OneTrustを活用したサードパーティリスクマネジメント

# グローバルでサードパーティの一元管理

- 契約締結前に質問シートを送付し、サードパーティのセキュリティガバナンスが、協和キリンの基準と合っているかを事前に確認させていただいています。

1.1
✓ \*標準フレームワーク
▼

\* あなたの組織は、どのようなフレームワークに準拠していますか？

「その他」の場合は、以下にご記入ください。

NIST-CSF

NIST-800-53

ISO 27001

GDPR

HIPAA

CIS-CSC-V8

CCPA

APPI

4
アクセス制御、認証、識別
▼

4.1
✖ \*アカウント管理
▼

\* システムにアクセスする際に使用するアカウントは、業務上必要な場合にのみ発行し、利用なくなった場合（異動や退職時を含む）即時アカウントの削除や無効化を実施している。 ⓘ

Yes

No

Justify your answer below.

Please provide justification

安定供給の信頼性向上へ

## ② フィッシング被害防止に向けた従業員教育

# セキュリティ文化の定着に向けた 従業員への対応

単に、体制を構築するだけでなく、“文化”を醸成し、信頼の基盤とする

・定期的なフィッシング訓練、年次のセキュリティ研修、啓蒙週間の実施。

・グローバルで標準化・同期化されたコンテンツの作成・活用

・経営陣による積極的な参加とコミットメント。



フィッシング対策

開始

日本語

FY25AW\_Day1\_任意コン



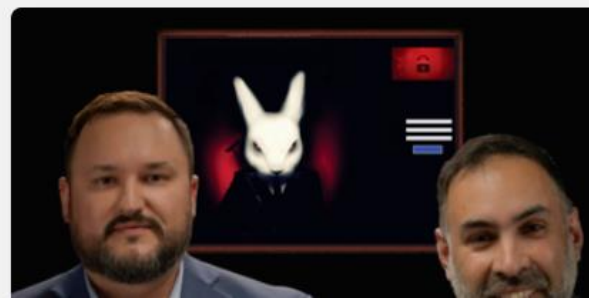
期待されるコースの期間は

ランサムウェア：

開始

日本語

FY25AW\_Day2\_必須コン



期待されるコースの期間は

デモ動画：クラ

## ③ 経営層を含む定期的なサイバー演習

# 協和キリン、基幹システム「ERP」がサイバー攻撃で停止 生産・物流が混乱、医療供給網に影響も

## 2025年10月6日 日本経済新聞（架空）

協和キリン（東京都千代田区）は6日、同社の基幹システムであるERPが外部からのサイバー攻撃を受け、国内外の生産管理・物流システムが一時停止したと発表した。攻撃の影響は医薬品の製造・出荷・在庫管理まで及び、医療機関への供給遅延が発生する可能性もある。

協和キリンによると、攻撃は10月3日深夜、ERP環境を管理するクラウド管理者アカウントが不正アクセスを受けたことが原因と見られる。攻撃者は管理者権限を乗っ取り、業務アプリケーションの一部に不正な設定変更やアクセス制限を行い、データベースへの暗号化攻撃も実施された。システム全体の広範囲が一斉に利用不能となり、生産・物流・受発注の各業務に連鎖的な障害が発生したという。

同社は2023年から、グローバル業務の統合とデジタル基盤の強化を目的に、従来のシステムをERPに移行してきた。生産計画・在庫管理・輸配送などサプライチェーンの中核機能がERPに依存しており、攻撃は一元化されたシステム全体の脆弱性を突いたものとみられる。物流面では、倉庫からの出荷指示や配送計画システムが一時停止し、複数の医薬品で納入スケジュールが乱れた。製造部門でも、バッチ管理・原材料手配・製造実績の記録などがERP上で処理されていたため、現場では手作業への切り替えを余儀なくされた。

協和キリンは外部のセキュリティ専門家と連携し、攻撃経路や被害範囲の特定を進めている。バックアップデータからのシステム復旧を急いでいるが、完全な復旧には一定の時間を要する見込み。同社の株価は同日午前の取引で一時4%下落した。政府関係者は「医薬品の供給を担う企業が攻撃を受けることは、医療インフラに直結する。グローバルなクラウド基盤を標的とする攻撃は今後も増加が見込まれ、業界全体での備えが急務」とコメントしている。

# サイバーインシデント対応

- グローバルでの対応体制を構築中

---

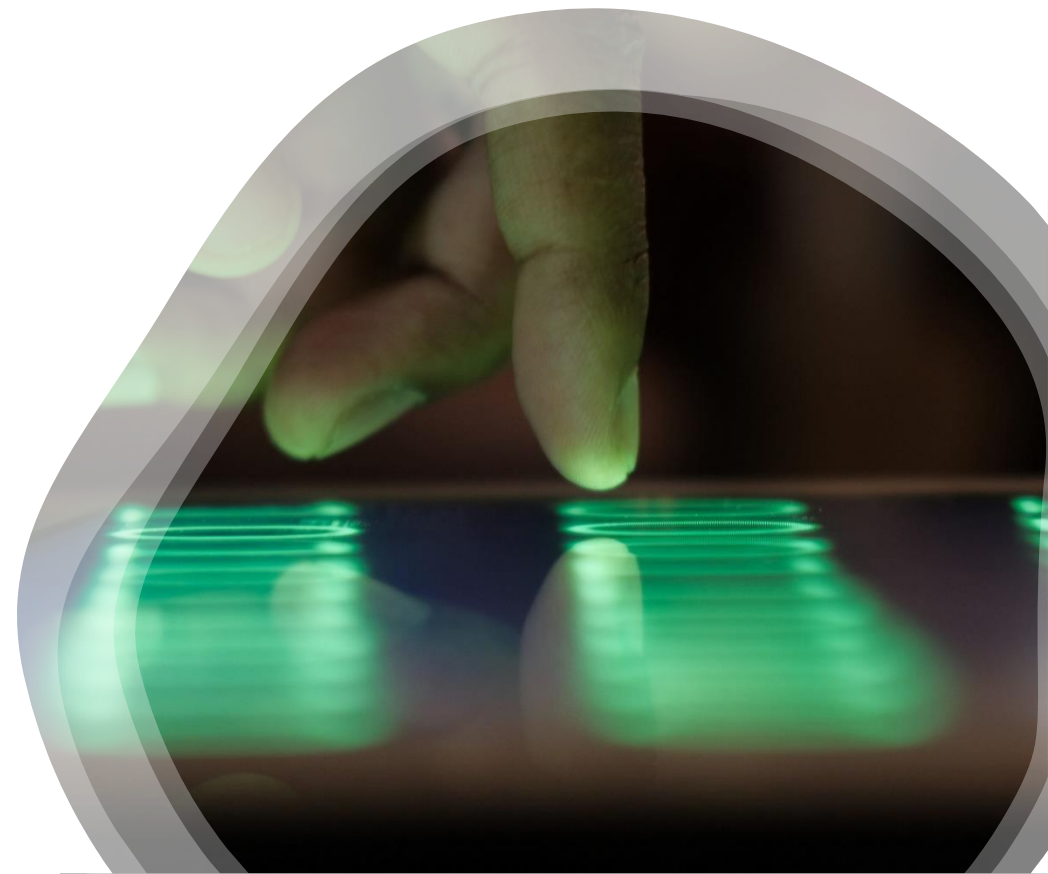
SOCとCSIRTの24時間体制。

---

各国単位での体制からグローバルでの一元管理化。

---

各階層におけるサイバー演習の実施。



# AI・DX 時代の新たな挑戦： Global AI Governance

# グローバルAIガバナンス 利用促進とコンプライアンス

---

グローバルポリシー、生成AIガイドラインを策定。

---

機密データの入力制限・承認フロー整備。

---

社員教育によるAIリテラシー向上。



**今後の方向性：これからも一緒に信頼を築く**

## 信頼を支えるセキュリティ文化へ

- ・セキュリティは社会や患者との信頼を築く基盤
- ・協和キリンはセキュリティを通じて価値を創出する
- ・セキュリティは制約ではなく、イノベーションの推進力



**KYOWA KIRIN**

たった一度の、いのちと歩く。